



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月10日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田口 泰一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岩崎 善彦 TEL 03-6661-7840
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	6,981	△27.5	△593	3.4	△26	△90.5	△199	△0.5
2020年9月期第3四半期	9,626	△31.4	△573	△225.0	△283	△162.0	△200	△1,170.7

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 △188百万円 (△24.4%) 2020年9月期第3四半期 △249百万円 (2,143.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	△39.48	—
2020年9月期第3四半期	△39.63	—

(注) 2021年9月期第3四半期及び2020年9月期第3四半期の潜在株式数調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	4,827	2,363	49.0
2020年9月期	5,604	2,573	45.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 2,363百万円 2020年9月期 2,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,317	△13.8	△301	△71.9	22	△91.2	△185	△891.1	△36.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	5,285,600株	2020年9月期	5,285,600株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	218,870株	2020年9月期	232,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	5,046,229株	2020年9月期3Q	5,050,840株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式（2021年9月期3Q 133,500株、2020年9月期末146,700株）が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2021年9月期3Q 133,500株、2020年9月期3Q 146,700株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点における当期の連結業績予想は、2021年2月15日に公表したのから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症の拡大が続く中、緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置の適用に伴って経済活動は停滞し、個人消費などの内需の低迷が続きました。当社グループの主要顧客であるホテル、商業施設においては外出自粛、飲食店への制限要請、各種イベントの自粛要請の影響が大きく、当社グループにおいても依然厳しい状況が続きました。

このような環境下において当社グループは、顧客、従業員の安全・安心の確保を最優先課題と捉え、徹底した感染防止に努めるとともに、売上の確保を第一に事業を継続してまいりました。費用面においては、雇用調整助成金の特例措置を活用することで、雇用の維持に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は6,981百万円（前年同期比27.5%減）、連結営業損失は593百万円（前年同期は連結営業損失573百万円）、連結経常損失は26百万円（前年同期は連結経常損失283百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は199百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失200百万円）となりました。

緊急事態宣言が延長されるなか、四半期報告書提出日時点においても厳しい経営環境が続くことが見込まれ、当社グループを取り巻く環境も引き続き厳しい状況となることが予測されます。

このような先行き不透明な事業環境を勘案し、事業戦略プロジェクトを立ち上げ、グループシナジーを最大限活かすべく各事業における新たな事業領域、顧客層の開拓を推進しております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績の業況は以下のとおりです。

① スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストランを中心として食器洗浄及び管理業務を全国展開する当社グループの中核事業です。

当第3四半期連結累計期間においては、主要顧客であるホテル商況が一時回復の兆しが見えたものの第3回及び第4回の緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置により再び停滞、また、3件の事業所の契約終了により当第3四半期の売上高は当初計画比72%に留まりました。

このような中、新規案件獲得に向けての営業活動に注力し、新規開業ホテルにおけるスチュワード業務を1件獲得いたしました。また、新たな業様としてコロナ感染者療養ホテルの客室清掃業務を開始、1件の業務を受注いたしました。

費用面においては、雇用の安定、確保の方針のもと、社員・パート・アルバイトの休業補償を人件費として計上したことにより、第2四半期に引き続き営業損失を計上することとなりました。また、休業補償に伴う雇用調整助成金については、営業外収益に計上しております。

この結果、売上高は2,546百万円（前年同期比38.3%減）、営業損失は384百万円（前年同期は営業損失565百万円）となりました。

第4四半期については、新たに受注した総合病院での食器洗浄業務を開始予定であり、当事業にニーズのある新たな分野として医療市場での事業拡大に向け営業を強化してまいります。また、オリンピック開催に伴う商況は想定の稼働には届かないものの、一定程度の売上を見込んでおります。

② フードサービス事業

当事業は、従業員食堂・レストラン運営の受託事業及び受託給食事業を全国展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置によりホテルの休業が続いたこと、飲食店の営業に関する制限要請によるレストラン来客数の低迷により、契約内容の見直しや4件の受託案件が終了となる等、当セグメントにおいても厳しい事業環境が続きました。

このような中、新規顧客を獲得すべく営業活動に注力し、当第3四半期連結累計期間において新たにホテル内レストラン2件、従業員食堂1件を獲得し、失注分のカバーに努めました。

費用面においては、従業員の配置見直し等により人件費の圧縮に努めるとともに、政府の各種支援を活用することにより、収益の確保と雇用の維持に努めました。

この結果、売上高は1,361百万円（前年同期比22.2%減）、営業損失は103百万円（前年同期は営業損失76百万円）となりました。

新たな取り組みとして、今後のシルバー市場への事業展開の礎とするべく、有名ホテルとの協業により老健施設へのオリジナルスイーツの提供、販売を開始いたしました。また、新たな業様としてテナントによるレストラン営業を開始、関西エリアに1店舗を開業、良い出店条件が期待できるコロナ禍により撤退したホテル、商業施設の空きテナントへの出店を検討、推進してまいります。

③空間プロデュース事業

当事業は、映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・施工・販売・管理・メンテナンスに加え、BGM及びフレグランスによるブランディングを提案する空間プロデュース事業としてセグメントを構成いたします。

当第3四半期連結累計期間においては、コロナ禍の影響による企業の収益悪化に伴う設備投資の見送りや、世界的な半導体不足の影響による受注案件の施工の先送り等により一般法人部門、金融営業部門で売上高が縮小しました。一方、音響機器販売部門においてリモート業務の拡大に伴うネットワーク・オーディオ需要を取り込み、大手企業の会議システムを受注したことにより、売上高は当初見込みをほぼ達成、営業利益、経常利益については見込みを大きく上回ることが出来ました。

費用面においては、配送費の削減やその他経費の圧縮に努め、見込みを抑えることが出来ました。

この結果、売上高は3,049百万円（前年同期比18.0%減）、営業利益は3百万円（前年同期比94.9%減）となりました。

緊急事態宣言の継続により販売活動が制限される中、ビジネスパートナーとのコラボレーションを強化し、ユーザー満足度アップのための商材の提案、また、サーマルカメラの顔認証システムやAVネットワークシステム等の医療市場へのアプローチを継続し、売上の向上、収益力の維持・継続に努めるとともに、新たなビジネスパートナーの開拓に注力してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対し、777百万円の減少により4,827百万円となりました。その主因は、現金及び預金516百万円の減少、受取手形及び売掛金241百万円の減少、並びに未収入金158百万円の減少などによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度に対し、567百万円の減少により2,463百万円となりました。その主因は、支払手形及び買掛金120百万円の減少及び未払金157百万円の減少などによるものであります。

純資産は、209百万円減少し、2,363百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当期の連結業績予想は、2021年2月15日に公表したものから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,149,207	632,214
受取手形及び売掛金	1,192,830	951,328
有価証券	50,367	—
商品及び製品	384,697	481,550
仕掛品	53,920	53,906
原材料及び貯蔵品	10,633	12,501
未収入金	204,743	46,063
その他	173,738	174,326
貸倒引当金	△492	△3,694
流動資産合計	3,219,646	2,348,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	937,899	954,756
減価償却累計額	△490,371	△513,685
建物及び構築物(純額)	447,527	441,070
土地	951,628	951,628
その他	184,238	193,712
減価償却累計額	△135,243	△149,279
その他(純額)	48,994	44,433
有形固定資産合計	1,448,151	1,437,132
無形固定資産		
のれん	38,869	34,077
その他	92,602	76,587
無形固定資産合計	131,471	110,664
投資その他の資産		
投資有価証券	408,954	475,997
繰延税金資産	213,169	265,951
その他	184,100	200,434
貸倒引当金	△509	△10,640
投資その他の資産合計	805,714	931,743
固定資産合計	2,385,337	2,479,540
資産合計	5,604,984	4,827,737

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	410,810	290,047
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	110,000	55,000
未払金	536,270	378,961
未払法人税等	64,873	5,158
賞与引当金	141,527	71,806
その他	303,570	233,958
流動負債合計	2,017,051	1,484,931
固定負債		
長期借入金	655,000	600,000
リース債務	61,216	40,046
退職給付に係る負債	261,288	285,810
株式給付引当金	12,409	6,788
長期末払金	22,544	43,311
資産除去債務	721	721
その他	1,500	2,323
固定負債合計	1,014,679	979,001
負債合計	3,031,731	2,463,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	279,306	279,306
利益剰余金	1,933,494	1,708,252
自己株式	△96,122	△90,605
株主資本合計	2,510,240	2,290,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,012	73,286
その他の包括利益累計額合計	63,012	73,286
純資産合計	2,573,252	2,363,803
負債純資産合計	5,604,984	4,827,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	9,626,074	6,981,667
売上原価	8,565,004	6,082,814
売上総利益	1,061,069	898,853
販売費及び一般管理費	1,634,774	1,492,229
営業損失(△)	△573,704	△593,375
営業外収益		
受取利息	995	1,125
受取配当金	11,693	4,714
受取賃貸料	6,934	6,981
為替差益	261	—
物品売却益	11,862	—
雇用調整助成金	246,653	537,754
その他	23,141	29,345
営業外収益合計	301,543	579,921
営業外費用		
支払利息	9,008	7,703
支払手数料	1,677	2,021
為替差損	—	3,545
その他	606	265
営業外費用合計	11,292	13,535
経常損失(△)	△283,452	△26,989
特別利益		
固定資産売却益	34	—
特別利益合計	34	—
特別損失		
固定資産除却損	0	9
役員退職慰労金	—	215,590
特別損失合計	0	215,599
税金等調整前四半期純損失(△)	△283,418	△242,588
法人税、住民税及び事業税	107,999	12,198
法人税等調整額	△191,270	△55,546
法人税等合計	△83,270	△43,348
四半期純損失(△)	△200,147	△199,240
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△200,147	△199,240

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△200,147	△199,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,728	10,274
その他の包括利益合計	△49,728	10,274
四半期包括利益	△249,876	△188,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△249,876	△188,965

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	4,129,742	1,745,519	3,714,750	9,590,013	36,060	9,626,074	—	9,626,074
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	1,170	3,318	3,481	7,970	244,944	252,914	△252,914	—
計	4,130,912	1,748,838	3,718,232	9,597,983	281,004	9,878,988	△252,914	9,626,074
セグメント利益 又は損失(△)	△565,538	△76,883	69,132	△573,290	22,813	△550,476	△23,227	△573,704

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△23,227千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	2,545,772	1,360,950	3,043,363	6,950,086	31,581	6,981,667	—	6,981,667
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	1,170	385	5,783	7,339	208,440	215,779	△215,779	—
計	2,546,942	1,361,335	3,049,146	6,957,425	240,021	7,197,446	△215,779	6,981,667
セグメント利益 又は損失(△)	△384,443	△103,480	3,508	△484,415	409	△484,005	△109,370	△593,375

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△109,370千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(雇用調整助成金収入)

当社は、新型コロナウイルスの影響により従業員の休業に伴う雇用調整助成金の交付申請をし、交付受給額及び見込額は以下のとおりであります。

- (1) 当該助成金の交付申請額 136,809千円 (2021年8月10日時点)
- (2) 上記のうち、助成金の受給額
 - ① 助成金の入金日 2021年8月6日～2021年8月10日
 - ② 助成金の受給額 13,268千円
- (3) 損益に与える影響 2021年9月期第4四半期連結会計期間以降において、営業外収益で計上いたします。

(自己株式の取得)

当社は、2021年6月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境に対応し、持続的な企業価値向上のための将来のM&Aやアライアンスでの活用を視野に入れ、将来の機動的な資本政策などを遂行するため。

2. 自己株式取得に関する取締役会の決議内容

- (1) 取得する株式の種類
当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数
100,000株 (上限)
- (3) 株式の取得価額の総額
27,800,000円 (上限)
- (4) 取得日
2021年6月29日
- (5) 取得の方法
東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (TosTNET-3) による買付

3. 自己株式の取得結果

- (1) 取得する株式の種類
当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数
80,000株
- (3) 株式の取得価額の総額
22,240,000円
- (4) 取得日
2021年6月29日 (約定日)、2021年7月1日 (受渡日)
- (5) 取得の方法
東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (TosTNET-3) による買付